



宇津木妙子氏による
第69回国民体育大会ソフトボール教室

秋の議会だより

◇主な内容

・吉岐市子ども議会開催	2P～	・一般質問（9人が登壇）	10P～
・特集「市民の声を聴く会」	4P	・市民の声	15P
・9月会議で決めたこと	5P	・議会だよりクイズ	16P



壱岐市子ども議会開催!

さる8月12日、壱岐市議会初めての取組として開催しました。
壱岐市議会議場において通常の議会と同じ方法で、より良い「ふるさと壱岐」を目指し
4中学校のこども議員から、市長に対して自由に質問・提言を発表してもらいました。

郷ノ浦

濱田 誠 議員・豊島圭裕 議員・山口幸翼 議員・前田ひなの 議員

質問: 旧中学校・空き店舗の有効利用は? 観光客滞在日数を延ばすには?
人口減少解決策は?

提言: 旧校舎や空き店舗を島外スポーツチームの合宿所や、観光客の体験型自然の家として改造すれば、中学生が手作りマップやポスターでPRの協力もできる。新しい壱岐の魅力を見つけて滞在期間が延びるし、若い人達はその施設で働くことができ人口減少を食い止めることができる。

答弁: 働く場所を増やすことは、人口減少対策として最も重要です。会社を立ち上げようとする人が旧校舎や空き店舗を利用すれば一石二鳥です。又、観光客に特典をつけるというアイデアは、ぜひ今後参考にさせていただきたい貴重なご意見です。



勝本

本城 匠 議員・中村遼太 議員・坂口絵理華 議員・山内雄心 議員

質問: 島内に直売所を設置して、壱岐の食材を使った商品開発ができないか?
子ども向けの少額商品券・プリペイドカードの導入予定は?

提言: 天候に左右されない農業、産み育てて増やす漁業に力を入れる農業・漁業者を助成し収入を安定させ、島で働ける場所を増やせば、人口流出を防ぐことになり、その農産物・海産物をブランド化して全国向けに宣伝・販売できる。

答弁: 今ある壱岐の主産業、農業・漁業を振興し人口減少を食い止めようというご提言でした。今後、関係機関と連携を取りながら、宣伝・販路の拡大に努めてまいります。商品券・プリペイドカードの導入は予定していません。



芦辺

境ひとみ 議員・寺田 想 議員・米田智愛 議員・長嶋冴映 議員

質問: 高齢者が豊かに暮らすための取組みは?
中学生も協力できないか?

提言: 高齢者と中学生とのふれあいの場を設けることや、一人暮らしの高齢者の自宅を訪問して、交流を通して元気になってもらいたい。さらに高齢者団体の活動に参加することで地域のために貢献できる。

答弁: 地域における世代間交流は大変有意義なこと。高齢者が希望する中学生にできる活動について十分検討いただきたい。社会福祉協議会にお伝えし、活動メニューの提示を願いたい。





質問： 商店街活性化対策は？ ゴミの処理対策は？
小学校・高校統廃合はあるのか？ 介護施設等で働く人の現状は？



提言： 商店街のシャッター通りには、絵を描いたり花を置くなど景観を良くすれば放置ゴミが減少する。空き店舗・旧校舎には、各業者が連携できる専門学校等の人材育成施設を設置し、修了後は地元で人材活用するような組織づくりをすることで人口流出をなくす。

答弁： 商店街活性化のために、しまとく通貨・プレミアム商品券で島内消費拡大を図るよう今後も商工会と連携し検討します。環境美化で活性化を図る工夫で資源循環型の美しい島となるよう

取り組みます。小学校・高校の統廃合については、現況のままです。また壱岐では介護職員は大変不足しているのでサテライト的な学級を設立できないか工夫を重ね、産業活性化・福祉の向上につなげていきます。

【発議第1号】

壱岐市子ども宣言の決議

子ども議会の開催を機会に、壱岐市で生活をしている私たちは、少子高齢化をはじめ多くに課題を抱える現代社会の中、これからの壱岐市のことについて考えました。

壱岐市民が育って守ってきた伝統と文化、豊かな自然を守り、安心・安全で住みやすい、活気のあるまちづくりのために、ここに次のことを約束し実行していくことを誓います。

記

1. 明るく元気なあいさつを通して、地域のコミュニケーションを築きます。
2. 自然を守り住みよいまちづくりを進めるためにできることから始めます。
3. 夢を持ち、将来地域に貢献できる気持ちを大切にします。

以上宣言いたします。

平成 26 年 8 月 12 日

長崎県壱岐市子ども議会

【採決】 発議第1号は、起立多数により、原案のとおり可決された。



市長： 今回の経験を大いに生かし壱岐の現在・未来に関心を持って、将来壱岐市の振興発展をリードする人材となるよう、皆さんの若い力に期待します。

謝辞（勝本中学校 中村遼太議員）： 学校とは違った地域のことを深く考える勉強ができ、感謝いたします。ふるさとの今、将来について考え発言する機会を与えていただき、これまで遠い存在に思えた政治のことを身近なものとして見つめ直すことができました。この経験を活かし、将来のまちづくりに協力していきたいと思ひます。本当にありがとうございました。

庁舎建設について「市民の声を聴く会」

庁舎建設についてのアンケート結果を受けて、7月28～31日の4日間、各町で市民の意見を聴く会を開催した。以下は、4会場で発言された内容を「賛成」「反対」それぞれの意見を集約して記載。答申を踏まえての市民の率直な意見が寄せられた。



賛成

- 特例債があるのに何故建設しないのか。建設するなら、広い土地、高台が良い。災害のことを考えていかないといけない。(台風、集中豪雨)
- 建設して効率化をはかる。建設地については、合併の条件だったのでは。
- 庁舎建設地が決まっていたのに、なぜ議会は早く進めなかったのか。
- 建設に反対の理由がわからない。財政的に反対と言うなら、将来いつ財政が良くなるのか。
- 4町の耐震化をしても当然老朽化がくるので、新庁舎を建設したがよい。新庁舎はただの箱ものではなく、市民の生命、財産をまもるためのものを。
- 庁舎の規模については、振興局との執務室の共同化と業務の民間委託等を十分検討してほしい。
- 市の中心に建設に賛成。

反対

- 官公庁が集約しているところが望ましい。建設には、約30億の庁舎を建てたとき合併特例債だから15年償還で約10億の借金を背負うことになる。現在の庁舎でも50年、70年持つ。アンケートの取り方も問題があったのではないかと。人口も減ってくるのに新庁舎の規模は縮小でよい。
- 新庁舎一本でやっていくのは、不親切なやり方だ。本庁、支所との役割分担などの組織の再編などが示されないままでは理解できない。合併特例債があるから建設するという発想はやめてほしい。新庁舎を建設すれば、どれくらいの経費の節約になるのか、資料が示されていない。
- 議員の皆さんが自分の足をつかって聴きまわって、賛成・反対を決めるのが本来の筋で、このような公聴会を開くようなことでは、上から目線では建設反対。
- 人口減少や、経済状態がよくなるに建てるべきでない。知識を持った人で活性化プロジェクトチームをつくり結果をだしてもらいたい。
- 反対意見が多い中で建設するのは、リスクが多いので、建設しない方がよい。分庁方式で活性化するなどの利点があるので、そこのところも考えてほしい。
- 商店街のプロジェクト等の人材雇用(例：日南市)に資金をつかってもらいたい。
- 意思表示をしない方の考えをどう分析するか、配慮が必要ではないか。建設場所及び規模を決める前に建設の是非を決めてもらいたい。
- 全国でも借金が多いほうなのに、将来子ども達の負担になるので建設には反対。閉校になった校舎等を改築して庁舎として利用できないか。
- 市の組織のあり方の論議が先。市民の負担が増える。住民の福祉やサービスにはつながらない。
- 責任を市民に転嫁しているので、議会は監視してほしい。どこも、経済の中心に庁舎を建設している。していないところは、経済が疲弊している。
- 集約は、市民のことを考えない行政の都合である。市庁舎建設より、2、3年後の事の方が先だ。

その他

- 委員会の答申はよく検討されていると思う。3億5千万円ぐらいでは、耐震はやれないのでは。
- 庁舎建設の説明会の資料は、各試算の数値がどこからきているか説明がなく解りにくかった。
- 建設するメリット、デメリット。建設しないメリット、デメリットを市民に数値で示してほしい。
- 中心地に建設するなら、振興局、裁判所、法務局も移設してもらわないと不便と思う。

★皆さんの貴重な意見を参考にし、現在、特別委員会を設けて協議中です。



9月会議で決めたこと

※ 壱岐市附属機関設置条例の一部改正

「壱岐市自治基本条例審議会」及び「壱岐市人口減少対策会議」を設置。

※ 壱岐市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に改め所要の改正。

※ 壱岐市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法に基づく認定こども園、幼稚園、保育所（教育・保育施設）及び家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育を行う事業（地域型保育事業）の運営に関する基準を定める。

※ 壱岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども・子育て支援法及び児童福祉法改正に基づく小規模保育事業（6名から19名）、家庭的保育事業（5名以下）、保育が必要な者の家庭で保育を行う居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業（自社労働者の子どもに限らず地域の子どもを保育する場合）の設備、運営に関する基準を定める。

※ 壱岐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法改正に基づく放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）の設備、運営に関する基準を定める。

※ 壱岐市立小・中学校設置条例の一部改正について

壱岐市立三島小学校、長島分校、原島分校の統廃合に伴い「分校」の項を削除。

※ 壱岐市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の出動手当を増額する。「出動手当1,000円」を「3,000円」に改正。



全国大会へ向けて壱岐市消防団 芦辺地区第一分団 猛特訓

◎平成26年度補正予算

一般会計の7月～9月補正額計	7億4,163万円
特別会計の7月～9月補正額計	2億2,710万円
一般会計+特別会計補正後の予算総額	329億1,317万円

○平成26年度各会計予算一覧

(単位：千円)

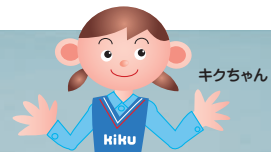
会計名	現計予算額	7月補正額	9月補正額	補正後予算額合計
一般会計	21,434,369	6,700	734,935	22,176,004
特別会計				
国民健康保険	5,098,249		144,909	5,243,158
後期高齢者医療	307,685			307,685
介護保険	3,217,688		42,091	3,259,779
簡易水道	766,988	5,000	2,087	774,075
下水道	446,013		705	446,718
特養老人ホーム	423,202		16,768	439,970
三島航路	126,926		2,241	129,167
農業機械銀行	123,314		13,304	136,618
合計	10,510,065	5,000	222,105	10,737,170
一般会計・特別会計の合計	31,944,434	11,700	957,040	32,913,174

○平成26年度企業会計予算一覧

(単位：千円)

会計名	内 訳	現計予算額	7月補正額	9月補正額	補正後予算額合計
企業会計	病院事業				
	収益的収入	2,942,118		375	2,942,493
	収益的支出	3,047,985		27,497	3,075,482
	資本的収入	378,518		24,800	403,318
	資本的支出	445,702		30,036	475,738
	水道事業				
	収益的収入	181,833			181,833
	収益的支出	235,853			235,853
資本的収入	2,245			2,245	
	資本的支出	121,563			121,563

どえーな予算のあと？



基幹系業務システム更新委託

174,722千円

平成20年度導入の基幹系業務システムは、保守期限最長7年のため更新。
データ移行費 86,400千円 システム改修費 88,322千円

沓崎市通信ネットワーク複層化構築業務委託

5,365千円

現在の沓崎市通信ネットワークはIP電話とインターネットのみで、追加のサービスは行えないため今回複層化したネットワークを構築することにより追加サービスを可能とし、住民生活向上を図る。
増設機器一式 4,674千円 設置設定費 691千円

生活困窮自立支援モデル事業（全額国庫補助）

4,645千円

平成27年度より「生活困窮者自立支援法」が施行され、困窮状態からの早期脱却を支援し、状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに地域における自立・就労支援等の体制の構築を図ることに伴い、モデル事業として社会福祉協議会へ委託し10月から実施する。

地域経済循環創造事業補助金（全額国庫補助）

50,000千円

県及び市が地域の金融機関等と連携しながら民間事業者等による事業化段階で必要となる経費について補助を行い、地域資源を活かした先進的で持続可能な事業化の取組を促進し地域での経済循環を創造することを目的とする事業。これを活用し、(株)沓崎の潮風が農産加工等6次産業化の実践による地域資源活用並びに雇用の創出を図ることへの補助を行う。(事業内容) 農産物生産施設、農産加工場、給食サービス、古民家レストラン

「沓崎の食」情報発信人材育成事業

10,876千円

ICTでの情報発信を実現するための技術と沓崎市の「食」を全国に流通させるための知識と営業力を持つ人材育成を図り、販路拡大に繋げる。

次世代自動車充電インフラ整備事業

9,288千円

急速・普通充電器 各1基を整備する。(設置箇所：一支国博物館)

消防団運営費

9,569千円

芦辺地区第1分団全国消防操法大会出場経費

農地及び農業用施設災害復旧事業

12,097千円

公共土木施設災害復旧事業

10,865千円

7月16日の豪雨により被災した施設の災害復旧事業費

決算特別委員会

[委員会意見]

市税をはじめ自主財源の伸び悩み等で、苦しい財政状況にある。平成26年度より、地方交付税の段階的縮減、合併特例債の償還等も

始まるため財源の確保など財政再建の対策を進め、各種事業の推進に努める必要がある。

未収金については、前年度より減少しているが、その中には長期固定化し、回収困難と見られるものもあるので、回収整理の対策をたて、早期の回収に努め債権の健全化を図ること。

平成25年度決算額

(単位：円)

会計名	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年に繰越すべき額	実質収支額	
一般会計	23,884,606,142	23,399,041,967	485,564,175	60,038,566	425,525,609	
特別会計	国民健康保険事業	5,168,391,411	4,909,056,420	259,334,991	0	259,334,991
	後期高齢者医療事業	295,001,557	292,889,707	2,111,850	0	2,111,850
	介護保険事業	3,122,691,157	3,054,816,332	67,874,825	0	67,874,825
	簡易水道事業	916,219,357	914,187,057	2,032,300	0	2,032,300
	下水道事業	419,604,895	419,487,075	117,820	0	117,820
	特別養護老人ホーム事業	498,678,485	446,453,353	52,225,132	0	52,225,132
	三島航路事業	116,780,737	116,780,737	0	0	0
	農業機械銀行	143,391,953	130,086,424	13,305,529	0	13,305,529
	合計	10,680,759,552	10,283,757,105	397,002,447	0	397,002,447
一般会計・特別会計の合計	34,565,365,694	33,682,799,072	882,566,622	60,038,566	822,528,056	

未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	25年度	24年度	増減額
市税	279,012	283,941	△ 4,929
分担金・負担金	5,728	6,916	△ 1,188
使用料・手数料	28,032	26,541	1,491
財産収入	413	300	113
諸収入	23,973	24,078	△ 105
国民健康保険税	327,889	349,354	△ 21,465
後期高齢者医療保険料	2,844	3,601	△ 757
介護保険料	33,208	28,481	4,727
簡易水道使用料	33,947	34,545	△ 598
下水道使用料・負担金	2,408	2,318	90
特別養護老人ホーム負担金	76	87	△ 11
農業機械銀行使用料	378	944	△ 566
合計	737,908	761,106	△ 23,198

委員会レポート

予算特別委員会

平成26年度吉崎市一般会計補正予算総額、7億3千493万5千円の審査を行い可決した。

[委員会意見]

ふるさと納税についての積極的な拡充については、活発な意見が出され、もっとPRしていく必要がある。

総務文教厚生常任委員会

付託された議案13件、認定6件、陳情1件、要望1件を審査し、議案並びに認定については全て可決した。陳情については採決すべきものとし、意見を提出し、又、要望については不採択とした。

[委員会意見]

◎特別養護老人ホーム・保育所・市民病院の看護師、介護士、保育士等の人材確保を緊急に

対応されたい。平成25年度各会計決算の個人未収金については担当課業務としてだけでなく、全庁的な課題として早急に具体的方策を示し債権回収に努め事業の健全化を図られたい。要望第7号については公益社団法人吉崎市シルバー人材センターの平成24・25年度の事業報告並びに決算状況を検証した結果、応分の諸事業並びに繰越金もあり、不採択とした。

産業建設常任委員会

付託された議案6件、認定4件及び請願2件と要望1件を審査した。全議案及び認定4件と請願2件は可決・認定し、要望は不採択とした。

[委員会意見]

◎議案55号「附属機関設置条例の一部改正」については、幅広い識見をもつ委員の選考を図ること。

◎簡易水道、下水道及び水道事業会計決算の未収金については前年度に比べて一部減少傾向にあるが、引き続き債権回収のための計画と合わせて効果的な対策を実施し、更なる未収金の回収に努めること。

◎要望6号「太陽光発電工事による水害に対する要望」については、県及び市の担当者立ち合いの下、要望者の意向などを踏まえて充分調査したうえで工事に着手しているため不採択とした。

議案と審議結果一覧表（7月～9月会議）

開催月	番号	議案内容	付託委員会	本会議採決結果	
7月	議案第52号	H26吉崎市一般会計補正予算(第3号)	—	7/14	可決
	議案第53号	H26吉崎市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	—	7/14	可決
9月	報告第13号	平成25年度財団法人吉崎栽培漁業振興公社に係る経営状況の報告	—	9/5	報告済
	報告第14号	平成25年度吉崎空港ターミナルビル株式会社に係る経営状況の報告	—	9/5	報告済
	報告第15号	平成25年度株式会社吉崎カントリー倶楽部に係る経営状況の報告	—	9/5	報告済
	報告第16号	平成25年度財団法人吉崎市開発公社事業会計収支決算の報告	—	9/5	報告済
	報告第17号	平成25年度吉崎市財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	—	9/5	報告済
	議案第54号	長崎県病院企業団規約の変更に関する協議	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第55号	吉崎市附属機関設置条例の一部改正	産業建設	9/19	可決
	議案第56号	吉崎市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第57号	吉崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例制定	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第58号	吉崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	総務文教厚生	9/19	可決

開催月	番号	議 案 内 容	付託委員会	本会議採決結果	
9月	議案第59号	壱岐市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第60号	壱岐市立小・中学校設置条例の一部改正	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第61号	壱岐市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第62号	市道路線の廃止について	産業建設	9/19	可決
	議案第63号	市道路線の認定について	産業建設	9/19	可決
	議案第64号	平成26年度壱岐市一般会計補正予算(第4号)	予算特別委員会	9/19	可決
	議案第65号	平成26年度壱岐市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第66号	平成26年度壱岐市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第67号	平成26年度壱岐市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	産業建設	9/19	可決
	議案第68号	平成26年度壱岐市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	産業建設	9/19	可決
	議案第69号	平成26年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第70号	平成26年度壱岐市三島航路事業特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	9/19	可決
	議案第71号	平成26年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算(第1号)	産業建設	9/19	可決
	議案第72号	平成26年度壱岐市病院事業会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	9/19	可決
	認定第1号	平成25年度壱岐市一般会計歳入歳出決算認定	決算特別委員会	9/19	認定
	認定第2号	平成25年度壱岐市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第3号	平成25年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第4号	平成25年度壱岐市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第5号	平成25年度壱岐市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/19	認定
	認定第6号	平成25年度壱岐市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/19	認定
	認定第7号	平成25年度壱岐市特別養護老人ホーム事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第8号	平成25年度壱岐市三島航路事業特別会計歳入歳出決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第9号	平成25年度壱岐市農業機械銀行特別会計歳入歳出決算認定	産業建設	9/19	認定
	認定第10号	平成25年度壱岐市病院事業会計決算認定	総務文教厚生	9/19	認定
	認定第11号	平成25年度壱岐市水道事業会計決算認定	産業建設	9/19	認定
	議案第73号	平成25年度壱岐市病院事業会計資本剰余金の処分及び自己資本金の額の減少	総務文教厚生	9/19	可決
	請願第2号	TPP交渉並びに農協改革に関する請願	産業建設	9/19	採択
	請願第3号	唐津・長崎路線レインボー壱岐号の運行再開に関する請願	産業建設	9/19	採択
	陳情第1号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める陳情	総務文教厚生	9/19	採択
	要望第6号	太陽光発電工事による水害に対する要望	産業建設	9/19	不採択
	要望第7号	「生涯現役社会の実現」に取り組むシルバー人材センターへの支援の要望	総務文教厚生	9/19	不採択
	発議第5号	TPP交渉並びに農協改革に関する意見書の提出	省略	9/19	可決
発議第6号	「手話言語法」制定を求める意見書の提出	省略	9/19	可決	
発議第7号	唐津・長崎路線レインボー壱岐号の運行再開に関する決議	省略	9/19	可決	

一般

質問

一般質問席

9人が登壇

「市政を質す」

一般質問とは、普段の議員活動の中で考え得たことを公表し市政に関する疑問点を質し、市民の要望に叶う施策を問う場。



今西 菊乃 議員

Q 「女性が輝く社会を」

- ①一般行政職における女性職員・管理職・新規採用者が少ない。女性軽視では？
- ②各支所の住民課窓口は、市民を知るためにも男性職員も経験すべき。

- ③職員へのお茶くみは女性職員の業務ではない。やめるべき。
- ④男女共同参画推進本部の構成と取り組み、今後の方針は。



男女共同参画事業

A 女性軽視ではない 市長

- ①女性の割合は、一般行政職では、職員239人中67人。保育士・介護士・保健師等を除くと職員148人中18人。管理職は34人中1人。新規採用は26年度4人中1人。今後も、企画・立案段階で女性のアイデアや能力を最大限に発揮できるよう参画を促進する。
- ②女性限定ではない。窓口全体では男性職員もいる。住民課窓口は結果的に女性が多く配置されているので、男性も経験させるよう指示する。
- ③職員に周知する。
- ④11名で構成。1度しか開催していない。しかるべき対応する。

Q 「特産物を活かして」

- ①ウニの高値と品質の悪さで苦慮している養殖等はないのか。今後の対策は。
- ②土産品（菓子）とアスパラの商品開発は。

A 地域おこし協力隊等の活用 市長

- ①東部漁協で25年度から養殖事業を展開。色は薄い味が上々。今年度から勝南漁協が実施、3年後の出荷予定。
- ②土産品（菓子）の商品開発は、主として民間業者で、市の特産品を使用した商品開発は、地域おこし協力隊等と連携し、積極的に取り組む。



豊坂 敏文 議員

◎市民の働く場作り

第一次産業振興策を図り人口減少・高齢化時代への歯止めを「今」最重要課題に掲げ、「新設の地方創生」を企画実行すべき。農業振興策として、先進的な営農技術者を雇用すべき。水産振興策として、漁家経済環境は益々厳しくなるなか、市と漁協で漁民の働く場を創生すべき。

A 養殖業も雇用の場 市長

- ①農業技術員の増員は、現況では逆風もあり厳しいと思慮する。
- ②水産業の雇用の場として、養殖業等の先進的事業を振興する要が有る。「地方創生」は人・物・仕事場であり、本事業への大きな期待を持てる具体的政策を図る。

◎ふるさと納税で

市内地場産品等魅力ある観光産品PRも含め、スピード感を念頭におき情報発信すべき。



長崎県壱岐市 壱岐市ふるさと応援寄附金 お礼の品カタログ

A 地場産業の販路拡大へ 市長

本事業により、壱岐産品等、市民への協力体制を見直し、カタログの魅力化をなし。早速に対応する。

◎姉妹都市調印を

壱岐市10周年の式典に併せ朝来市と交流の礎として「歴史・教育・経済パートナーシップ宣言」の調印がなされ、来年は朝来市が合併10周年を迎え記念行事の企画が有り、その一環事業として取り組む方針は。

A 平成27年6月予定 市長

来年は、朝来市の10周年の式典計画もあるため提携にむけた運びにする。



赤木 貴尚 議員

◎庁舎建設アンケートについて

回収率が低かったが、目的は？

回収率UPの方策は？何を聞いて、何を参考にしたかったのか。

A 何が足りなかったか教えてほしい 市長

目的は、アンケートに記載した通り、目標値はない。広報誌、ケーブルテレビで告知した。意見を聞く為のもの、住民投票ではない。

壱岐市庁舎建設アンケート結果 (H26.8.25 現在)

【配布状況】		【回答内容】	
アンケート配布数	11,586 通	建設した方が良い	851 通 30.2 %
回収数	1,920 通	建設しない方が良い	1,813 通 64.3 %
回収率	16.8 %	どちらでもない	157 通 5.5 %

【回答の主な内容】

◎賛成		◎反対	
合併特例債の活用	104 通	財政的に不安	366 通
施設の老朽化	118 通	既存庁舎の活用	403 通
行政の効率化	63 通	庁舎以外の既存施設活用	36 通
市民サービスの観点	98 通	市以外の施設活用	30 通
防災拠点としての役割	35 通	人口の減少	200 通
その他	65 通	財源を他の事業、政策等へ活用	143 通
理由未記入	487 通	その他	182 通
		理由未記入	762 通

◎どちらでもない

白紙	109 通
どちらが良いかわからない	25 通
中立	3 通
その他	20 通

◎庁舎建設の意志をいつ決めたのか

アンケート結果が、「建設しないほうが良い」が64.3%である。市民の声に対して、「建設」と市長が決めたのはいつなのか。

A 建設の意志を決めたとは言っていない 市長

アンケートを提出していない方の考えは、今回の結果がそのまま当てはまるとは思わない、「建設すべき」と判断し、議論していく。

◎再度アンケートを行うのか

今後、建設場所などの意見、市民の声を聴くためのアンケートを行う考えはあるのか。

A 再度アンケートを行う考えはない 市長



呼子 好 議員

Q 庁舎建設地の明示を

- ①住民の反対意向が強いか、建設すべきと決断、説明責任を。
- ②本庁舎に集約後、支所の窓口は、解体費用は。建設地も明示し試算を。
- ③特例債を活用し物産館建設は。

A 特別委員会で議論 市長

- ①今後説明する。
- ②4支所の在り方、跡地利用、解体費用等は委員会で協議。
- ③物産館建設は特例債を活用できる。

Q 学校建設を優先に

芦辺小、中の建設時期は。現庁舎より盈科小、郷中、石田中は数年古い。子ども優先の校舎建設が先。

A 耐震補強工事を27年度に終了 教育長

芦辺小はH29春開校予定、芦辺中は工事計画を進めている。郷中・石中は耐震化終了。盈科小はH27耐震工事予定。まずは耐震工事を行い安全な教育を目指す。

Q 津波5.3mの対応について

津波想定が最大で5.3mに大幅変更。ハザードマップの見直しと避難場所の変更。壱岐の町部・浦部の影響は。

A 自主防災組織の結成を 市長

標高5.3m以下の世帯数は郷ノ浦555・勝本602・芦辺800・石田364。電柱等に標高表示をするとともに、危険箇所・避難場所の修正を行う予定。

Q ふるさと納税について

壱岐は取り組みが遅い。納税額によって特産物を贈ることで所得の拡大に繋がる。パンフレットを一新し推進の拡大を。

A スピード感がない。反省している 市長

独自のアイデアで頑張る。お礼の特産品の拡大、ポイント制の導入。

Q 三島小学校の統合について

長島・原島の児童の通学は。長島分校は解体し、住民の避難場所の建設を。フェリーみしまは欠航が多い。



長島分校

A フェリーみしまを運行予定 市長

長島・原島の児童はフェリーみしまで通学検討。長島分校講堂は古いので、避難場所として適当か検討。フェリーみしまは、運行規定で運行。終日欠航は少ない。



市山 繁 議員

Q ふるさと納税制度寄付金の取り組み

この制度は他の市より対応が遅い。

ふるさと納税班を設置してポイント制度を設けては。自治体の財源確保の寄付である。市民全体で呼びかけ推進すべき。

A 職員一丸となって取り組む 市長

8月末現在、46件、99万円。目標にほど遠いがPRに務める。

ポイント制については企画振興部だが、ふるさと納税班設置まではいかないが独立させるべきと思う。

Q 市立特別養護老人ホームの建設

①現施設の経営移譲の時期は。

②プロポーザル方式の公募の中に、サンドームの複合型施設の条件について。



壱岐市立特別養護老人ホーム

A 建設について 市長

- ①今年10月～11月にかけて約1ヶ月間を募集期間、翌年1月までに移譲先を決定したい。平成27年10月までには経営移譲したい。
- ②サンドームの活用もプロポーザルの一つの条件として提案があれば一応付記をしたい。

Q 特定国境離島の指定

壱岐・対馬・五島、三島が指定された場合、空港の整備については対象となるのか。

A 指定について 市長

国の動向を注視して、適切に対処したい。



市山 和幸 議員

◎ 耕作放棄地を再生せよ

国が設置した農地中間管理機構はあるが、小規模な農地は取り残される心配がある。壱岐市の農地の実態にあった独自の仲介システム構築を考えるべき。

A 国の仲介システムで 市長

今年から行政が仲介に入る農地中間機構がスタートした。借地希望申し込みは8件、貸地は195人だったが実際の届け出は5件70アールのみ。調査では遊休農地は143ヘクタールある。耕作困難な場所もあり多くの問題もあるが、国のシステム運用の中で解決してもらいたい。

◎ 高齢者の就労支援を

年金支給年齢の引き上げもあり、就労を希望する高齢者は多い。シルバー人材センターでは安定的な収入は望めない。市に相談窓口を設置して対応すべき。

A 就労支援はハローワークで 市長

ハローワークに集約して一元化すべきと思っている。若者の仕事不足の中で定年延長については難しい。市として何ができるか研究したい。

◎ 不法投棄を許すな

悪質な一般廃棄物の不法投棄が目立つ。不法投棄した人が特定できるものに対しては罰則を含めた厳しい注意喚起が必要。



「不法投棄禁止」啓発看板

A 市民の意識改革が必要 市長

監視カメラの設置、パトロールを実施し、廃棄した人が特定できれば呼び出して注意指導している。島全体が市民の庭であるという意識を持つことが重要。

◎ AEDの夜間使用対策を

現在設置されているAEDは夜間の緊急時に使用が困難。夜間、使用できる施設に依頼して対処すべき。

A 設置依頼をする 市長

夜間を含め緊急時のために、準公共施設等や施設に設置の依頼をする。



鶴瀬 和博 議員

◎ 子どもの夢こそ応援を

子どもたちのスポーツ、文化活動での活躍は目覚ましく、県選抜者もいる。県大会等出場助成制度はあるが、県選抜の合同練習旅費

は保護者負担。今後子どもが様々な分野で活躍することが島の元気にも繋がる。

子どものあらゆる活動等を支援する「子ども夢プラン応援基金」を創設し、ふるさと納税の財源の一部を充て、小中高生まで制度拡充を。



女子サッカー長崎県代表として九州大会出場

A ぜひ、実現したい 教育長

保護者の負担により子どもたちの諸活動が支えられている現状を打開できるようふるさと納税制度の子ども応援コースに子ども夢応援プラン(仮)として追加し、要綱等整備に早速着手する。

◎ 第2次総合計画は

- ①市長は新庁舎建設と判断。建設後の市の体制は壱岐振興には重要。その位置付けは。新庁舎を図書館等複合施設とする考えは。
- ②人口減少対策会議には若者、女性の起用を。その位置付けと総合計画審議会との関係は。
- ③6月会議で定住促進策を市民から募集したが、その結果は。

A 人口減少対策は最重要課題 市長

- ①本庁舎を1カ所に集約すれば、全庁横断的な連携や行財政運営の効率が図られ、まさに壱岐振興の拠点。複合施設の考えはない。
- ②人口減少対策会議は次期総合計画に反映したい。総合計画審議会は、全て外部委員のみ。人口減少対策会議は外部委員と行政の21名で外部員は女性や若者もお願いしたい。
- ③直接の提案はないが、各種会議でお聞きしている。



音嶋 正吾 議員

◎ 農業振興策について

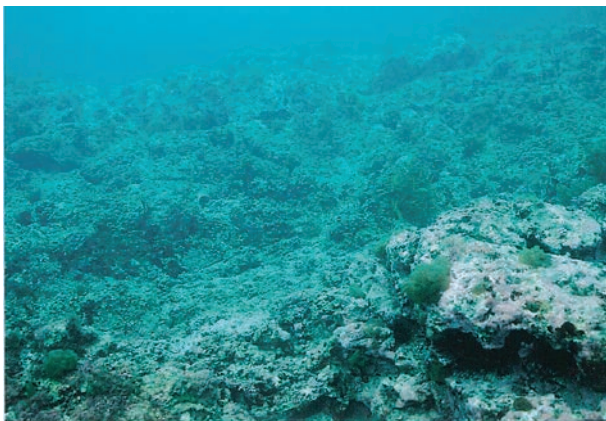
- ①繁殖牛の増頭対策の進捗状況の推移について
- ②ICTを活用した販売強化策について

A 進捗していない 市長

- ①施設建設用地が決定していない。以前の指摘から進捗していない。
- ②(株)壱岐の潮風、(有)二協開発等の活躍を期待する。

◎ 水産業の起死回生策

- ①藻場の再生策が重要であるが。
- ②販売、加工施設等に於いてはオール壱岐の取組を。生産活動部門は漁協の統合が重要。



大島西側海中の藻場

A 地場産業の販路拡大へ 市長

- ①重要性を認識する。今後とも真摯に検討する。
- ②貴重な提案である。

◎ 島内に貨幣滞留対策を

- ①ふるさと納税の推進による「ふるさと産品」を呈する事による購買力促進、交流拡大に寄与する。
- ②医療環境の拡充により市内医療消費額が増大する。
- ③基金の現先取引、国債・地方債券等の運用を検討しては如何か。

A 課題山積なり 市長

検討する。



深見 義輝 議員

◎ 住みたくなる島

島内の活性化を図るためには、人口増加が必要。「U・Iターン者」も含めた長期的人口減少対策は。

A 減少に歯止め掛からず 市長

人口増加に向け施策を講じたが、解決に至っていない。提案も含め知恵を貸して欲しい。

◎ 魅力ある産業

- ①一次産業の活性化を図るのは、後継者(担い手)対策が急務。経営安定、所得向上を図るための販売対策として「ブランド認証制度」(ロゴマーク)制定を以前求めたが、その後の対応は。
- ②畜産農家の高齢化で飼育頭数が減少している。早急な対策を。

A 農漁協・商工会と協議 市長

- ①原案はあるが、進捗していない。地域おこし協力隊からも提案があり早急に調整を図る。
- ②企業的畜産経営も含め積極的に推進する。

◎ 交流人口の拡大

- ①島の歴史・文化・食を島外に発信する拠点施設(情報交流プラザ)が必要と思うが、その後の協議は。
- ②観光客は満悦した様々なコースを求めている。新たな観光スポットを発掘し整備しては。



初山の「六人地蔵」と案内掲示板

A Iki Ikiサポートショップを活用 市長

- ①設備投資に多額な費用が必要で助成制度がなく整備の目途が立たない状況。
- ②観光客のニーズを把握し取り組む。

市民の 声



「議会だより第42号」
クイズ応募者より
いただいた
ご意見ご感想です。

小中一貫校にする
ことで国から支援
金等が出ると新聞に載っ
ていました。芦辺中学の建
て替えの話がでてますが支
援金が出るなら、それを
活用して実現したらど
うでしょうか。
58歳

いつも拝見して
いますよ！ ただい
ま子育て真っ最中です。
子供の住みやすい吉岐
の島になるといいで
すね！ 31歳

弟もソフトボ
ールをしています。
国体(豊永選手)の応
援にも行きます。ガ
ンバレ！ 先輩！
11歳

小さい頃は、サ
ンドームによく行っ
て、プールを楽しんで
いたので、また友達と行
きたいです。
ぜひ再開してほしい
です。 16歳

最近、吉岐市の
政治に興味を持ち、
議会だよりを読んでみ
たら内容が中3の僕でも
分かりやすく、もっと
市の政治に興味がわ
きました。15歳

原子力発電
反対の意見が
少ない。子供た
ちを守ろう。

今、吉岐市庁舎の
建設について議論がな
されています。4つの町が
1つになったのです。主要部
分は1つにまとまり同じ屋根の
下で仕事をしてください。効率
も良くなり吉岐住民のため
になります。建設に賛成です。
今やらずに、いつやれ
ますか！ 78歳

このクイズをき
かけに子ども達と、市
議会だよりをじっくり読み
ました。大人だけでなく子
どもも市で何が起こり、どん
な意見があるのか興味をもて
良かったと思います。
父・子ども12歳・10歳・
7歳 4通

先日の子ども議
会をケーブルテレビ
で見ました。今後も中
学生の思いを発言する
機会があると良いと感
じました。とても良
かったです。

初めて応募しま
した。博多から吉岐
に島流しの嫁入りでし
たが、すっかり吉岐のお
ばちゃん頑張ってい
ます。
住めば「みやこ」
ですね！

私は、三島小
の原島分校の卒業
生です。子どもが減
って廃校になるの
が、さびしいです。
26歳

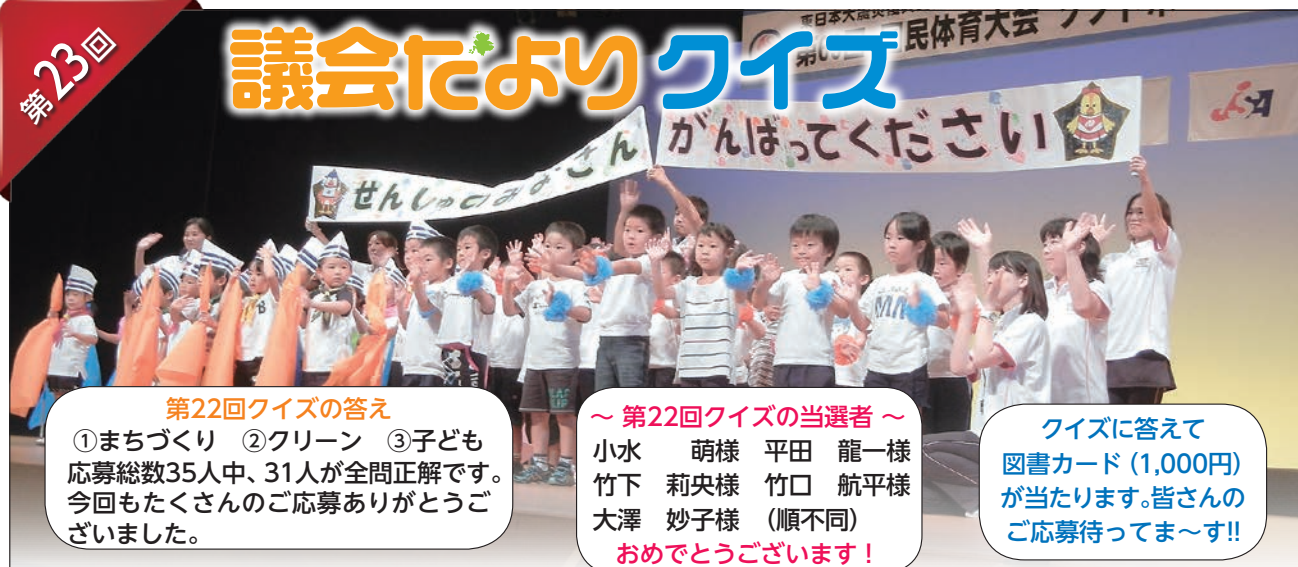


「第17回
一支国幼児
相撲大会」



第23回

議会だよりクイズ



第22回クイズの答え

①まちづくり ②クリーン ③子ども
 応募総数35人中、31人が全問正解です。
 今回もたくさんのご応募ありがとうございました。

～ 第22回クイズの当選者 ～

小水 萌様 平田 龍一様
 竹下 莉央様 竹口 航平様
 大澤 妙子様 (順不同)
 おめでとうございます!

クイズに答えて

図書カード(1,000円)
 が当たります。皆さんの
 ご応募待ってま～す!!

クイズ

「次の問題に答えよう」
 ○に当てはまる言葉は何か?

その① 長崎市子ども議会の発議第1号は
 ○○○○により、可決された。

その② ふるさと○○制度をPRしていく。

その③ しま○○通貨で島内消費拡大。



ヒント この議会だよりの中に答えがあり
 ますので、最初から最後まで良く
 読んでみてください。

《応募方法》クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、
 ハガキでご応募ください。
 議会だよりを讀んだご感想や、市政へのご意見・ご要望
 などお書き添えください。

ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介
 させていただきます。
 正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円
 分をお贈りします。

(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》〒811-5521
 長崎市勝本町西戸触 182-5
 長崎市議会事務局 宛

《しめきり》平成26年11月30日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表および『市民の声』等の
 目的以外には利用いたしません。

編集後記

「スポーツと食欲の秋」

国民体育大会「長崎がんばらんば国体」も終わり、国内のアスリー
 ト達の熱戦を身近に観戦することができ、素晴らしい感動を覚えま
 した。

長崎のおもてなしの心は、多くの来島者に伝わったでしょうか。

再度、本市を訪れられることを期待いたします。

市民皆様のご協力に感謝いたします。

深見 義輝



議会広報特別委員会
 委員長 赤木 貴尚
 副委員長 久間 進
 委員 牧永 護
 豊坂 敏文
 深見 義輝
 土谷 勇二

お知らせ

長崎市ホームページ



<http://www.city.iki.nagasaki.jp>の市議会の
 インデックス(見出し)を検索すると、市長行
 政報告および議員の一般質問の音声を生で聞
 くことができます。また市議会会議録は、議事
 事務局・市役所本庁(総務課)・各庁舎(市民生活
 班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。

公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・
 見舞い等の金品を送ることや、
 暑中見舞い・年賀状などの挨拶
 状や有料の広告は禁止されて
 おります。

市民みなさまのご理解とご
 協力をお願い申し上げます。

長崎市議会議員一同

編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県長崎市勝本町西戸触 182-5

TEL: 0920-42-1111

FAX: 0920-42-0096

【E-mail】iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】<http://www.city.iki.nagasaki.jp>



長崎市議会だよりは地球に優しい植物油インキで印刷されています。